

環境活動レポート
2009年度
田辺倉庫株式会社

目次

1. 会社概要	2
2. 環境方針	3
3. 前年度の環境目標とその実績	4
4. 前年度の主要な環境活動計画（具体的取組内容）及びその実績、評価結果	8
5. 今年度の環境目標と活動計画（施策）	9
6. 主な環境活動のご紹介	9
6. 1 緊急事態対応訓練を実施	9
6. 2 空調の適正使用による環境負荷の軽減活動	10
6. 3 ペットボトルキャップのリサイクルに協力	11
7. 環境関連法規制への違反、訴訟等の有無	12

1. 会社概要

(1) 事業所及び代表者氏名

事業所名 : 田辺倉庫株式会社
 代表者氏名 : 田邊 敬勝 (代表取締役)
 URL : <http://www.tanabesouko.co.jp>

(2) 本社所在地 : 〒213-0005 神奈川県川崎市高津区北見方1-26-1

関連事業所

宮内営業所 : 〒211-0051 神奈川県川崎市中原区宮内2-32-1
 板妻営業所 : 〒412-0048 静岡県御殿場市板妻長畠763-10
 御殿場営業所 : 〒412-0038 静岡県御殿場市駒門1-150
 北見方営業所 : 〒213-0005 神奈川県川崎市高津区北見方1-19-1
 下野毛営業所 : 〒213-0006 神奈川県川崎市高津区下野毛1-12-26

(3) 環境管理統括者 : 佐藤 知也 (常務取締役)

(4) 環境管理責任者 : 樋尾 知広

連絡先 TEL : 044-844-7771
 FAX : 044-822-0973

(5) 事業概要 : 倉庫事業 (物品の保管、荷役、流通加工及び情報処理業務)

(6) 事業規模 (2010年7月現在)

従業員数 : 166名 (パート、アルバイト含む) 営業坪数 : 3,482坪

総計

項目	CO ₂ 総排出量	電力使用量	ガソリン使用量	一般廃棄物排出量	水使用量
2008年度	346,052Kg-CO ₂	817,337Kwh	8,842L	4.75t	2,127 m ³
2009年度	251,177Kg-CO ₂	501,896Kwh	7,089L	2.82t	2,005 m ³

■2009年度営業所別

営業所	CO ₂ 総排出量	電力使用量	ガソリン使用量	一般廃棄物排出量	水使用量
本社	8,384Kg-CO ₂	13,601Kwh	1,162L	0.20t	49 m ³
宮内営業所	9,987Kg-CO ₂	-	3,849L	0.11t	-
板妻営業所	48,628Kg-CO ₂	10,1469Kwh	1,005L	0.13t	1010 m ³
御殿場営業所	36,818Kg-CO ₂	86,286Kwh	323L	-	400 m ³
北見方営業所	109,777Kg-CO ₂	210,628Kwh	750L	2.254t	329 m ³
下野毛営業所	37,583Kg-CO ₂	89,913Kwh	-	0.28t	217 m ³

※2009年度は2009年7月から2010年6月末まで

2. 環境方針

環境方針

[環境理念]

田辺倉庫株式会社（以下当社とする）は、事業活動を通じて美しい地球を守ることも重要な経営課題である事を認識し、美しい自然と豊かな資源を次世代に残す責任があると考え、環境保護に対して継続的企業努力を行い、次に定めた5つの環境方針を基に企業としての社会的責任を果たしてまいります。

[環境方針]

1. 法規制等の遵守
環境保全に関する諸法規を遵守します。
2. 資源・エネルギーの効率的利用
廃棄物の削減と資源の保全を推進し、省エネルギー活動に努めます。
(1) 納入・配送業者へのアイドリングストップ活動に努めます。
(2) 梱包資材リサイクル等の有効活用に努めます。
3. 継続的環境改善と予防
目的・目標を設定し、取り組み結果を見直す事により継続的に環境を改善し、環境汚染の予防に努めます。
4. 従業員への教育
環境教育により全社員と組織に関わる人たちに、自覚と意識を高めさせ全員参加の活動を行います。
5. 環境啓蒙活動内容の開示
社内外に対して、活動内容を開示し社会とのコミュニケーションを図る事を最大限努力します。

2009年5月21日 制定

2010年7月15日 改訂

田辺倉庫株式会社
代表取締役社長 田邊 敬勝

3. 前年度の環境目標とその実績

<2009年度>

	環境目標	実績
1	2009年度末までに年間購入電力排出CO2を2008年度比20%削減(御殿場営業所、宮内営業所を除く)	目標達成
2	2009年度末までに、0A機器および電灯の適正使用を行い、年間削減電力を1,620kwh以上にする。(2008年度比4%向上)(御殿場営業所)	目標達成
3	2009年度末までに、0A機器および電灯の適正使用を行い、年間削減電力を128kwh以上にする。(2008年度比4%向上)(宮内営業所)	目標達成
4	2009年度末までに年間一般廃棄物排出量を2008年度比4%削減	目標達成
5	2009年度末までに年間コピー用紙購入量を2008年度比4%削減	目標達成
6	2009年度末までにコピー用紙のグリーン調達割合を50%にする。	目標達成
7	年度中に、事業活動に伴うエネルギーの削減に関する提案を、全社で4件以上行う。	目標達成

※総排水量については生活用水としての利用であり、人数比であるため環境目標からは除外する。

※2009年度第一四半期より環境管理活動の範囲変更を行った。

※御殿場営業所及び宮内営業所の電気使用量は通常業務時間をもとに目標値を設定している。

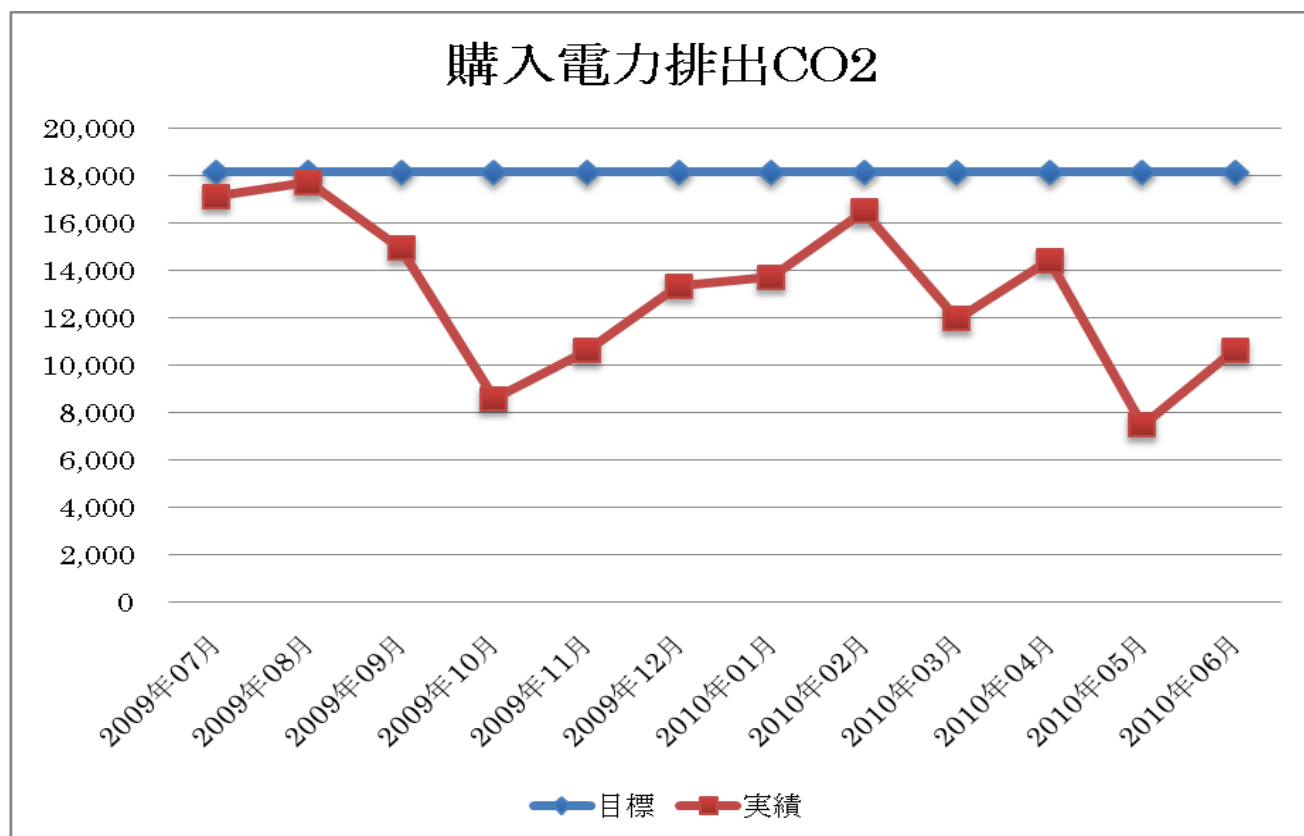
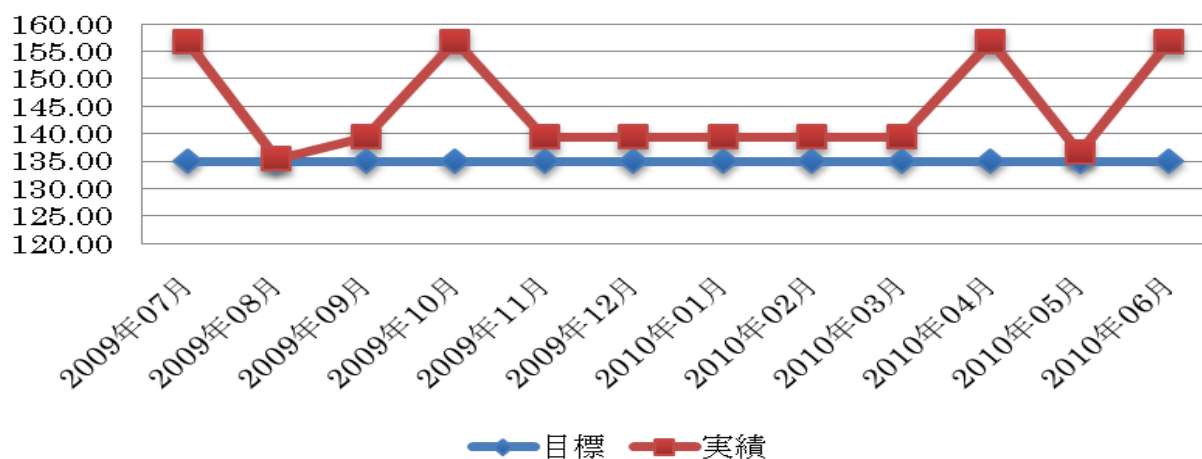
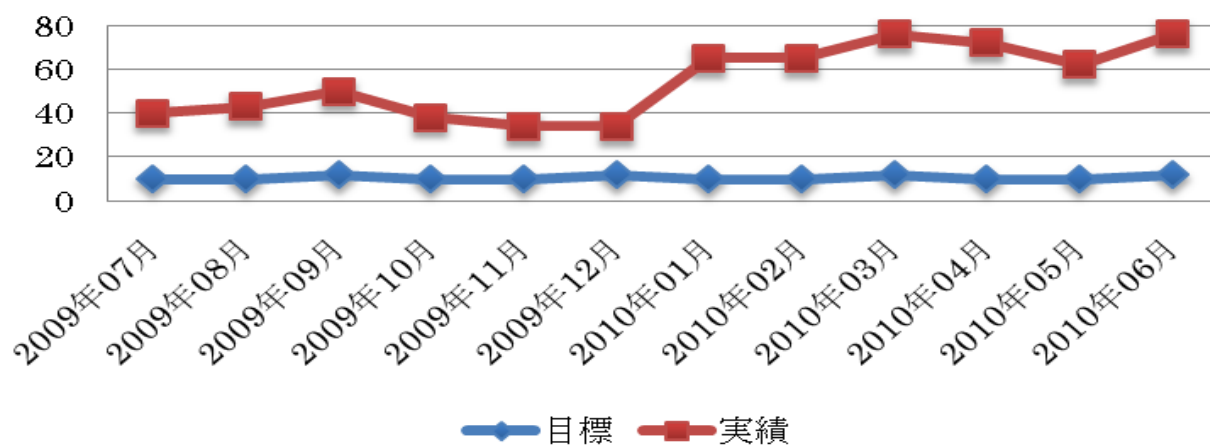


図 1 購入電力排出 CO2 実績図 (単位: Kg-CO2、青: 目標、赤: 実績)

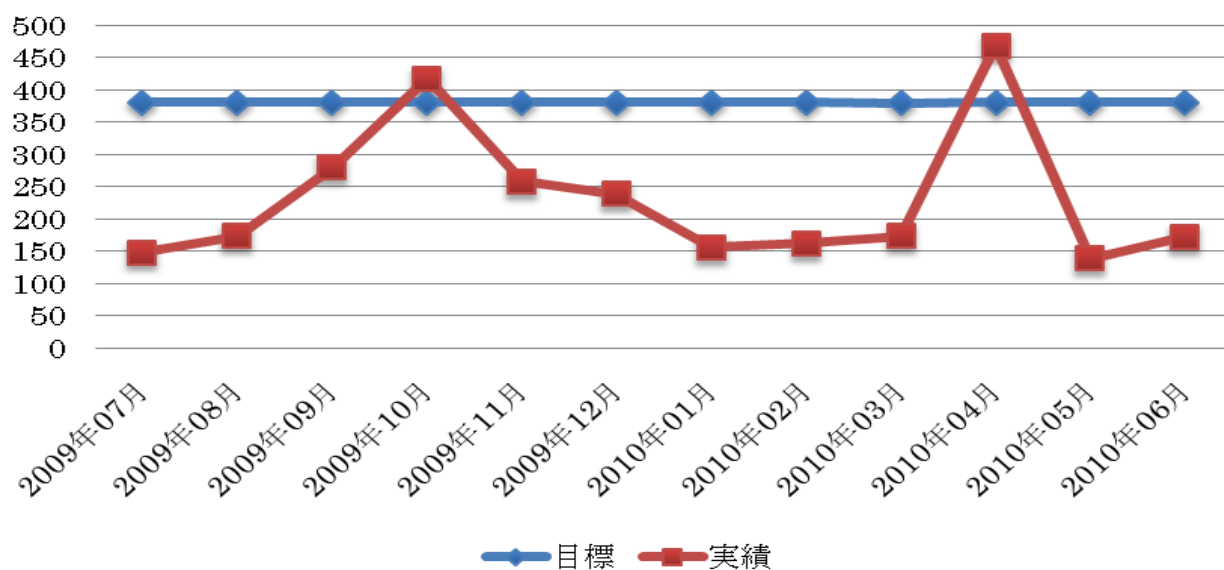
御殿場営業所 使用電力削減量 (単位：Kwh)



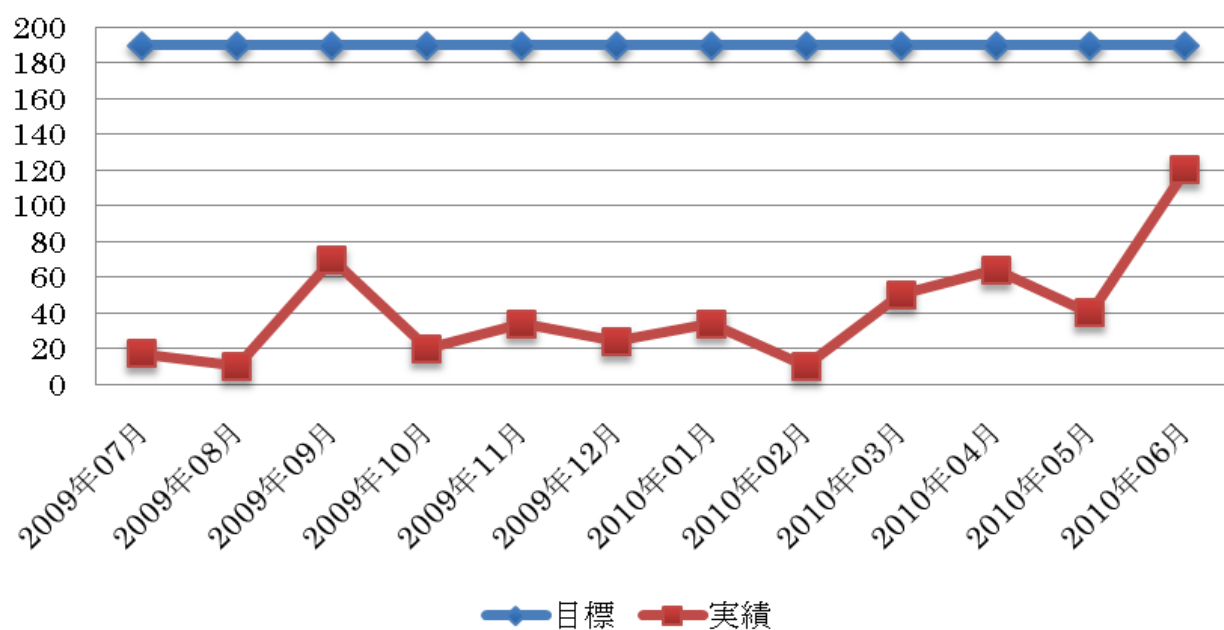
宮内営業所 使用電力削減量 (単位：Kwh)



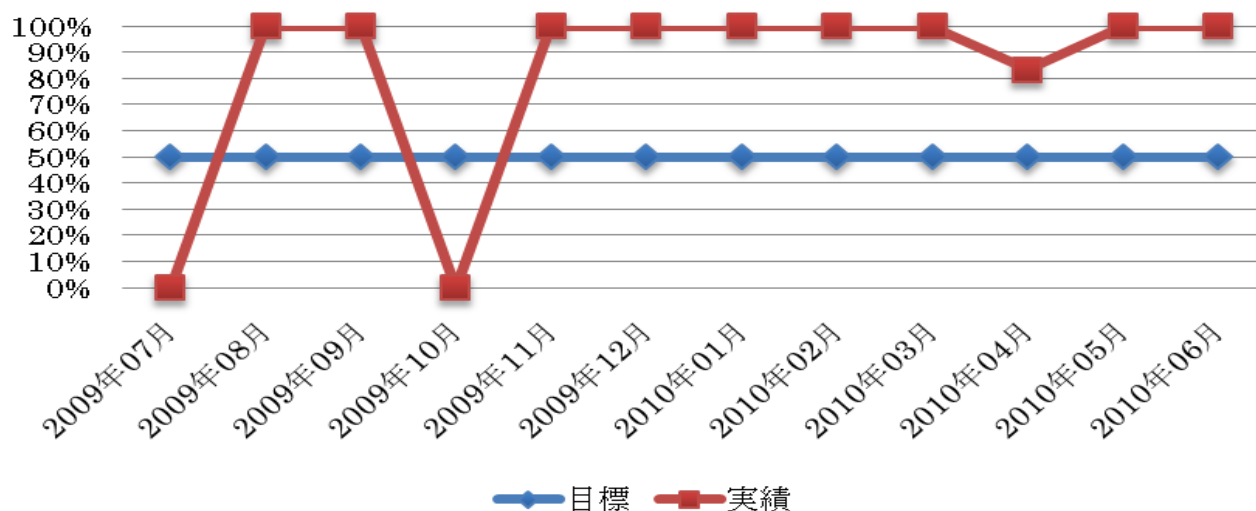
一般廃棄物排出量 (単位：Kg)



コピー用紙購入量 (単位：Kg)



本社・コピー用紙グリーン購入率 (単位：グリーン購入/総購入量)



■エネルギーの削減提案 - 北見方営業所の休憩所集約

〈目的〉

北見方営業所では棟ごとに休憩所が分かれているため余計なエネルギーを消費しておりました。休憩所を集約することにより使用エネルギーの削減を図りました。

〈集約後の休憩所〉



4. 前年度の主要な環境活動計画（具体的取組内容）及びその実績、評価結果

今年度の活動計画 ー具体施策ー (いつまでに、何を行い、どのようにする)	該当拠点 (全社 or 営業所名)	評価指標	目標・実績・結果	
			目標	実績・結果
2010年7月までに、OA機器、空調及び電灯の適正使用を行い、年間購入電力排出CO2を217,634kg-CO2以下にする。(2008年度比20%削減)	本社 板妻営業所 北見方営業所 下野毛営業所	Kg-CO2	目標	217,634
			実績	157,079
			結果	○
2010年7月までに、OA機器および電灯の適正使用を行い、年間削減電力を1,620kwh以上にする。(2008年度比4%向上) (612.36kg-CO2)	御殿場営業所	Kwh	目標	1,620
			実績	1,735
			結果	○
2010年7月までに、OA機器および電灯の適正使用を行い、年間削減電力を128kw以上にする。(2008年度比4%向上) (48.44kg-CO2)	宮内営業所	kwh	目標	128
			実績	655
			結果	○
2010年7月までに、分別廃棄を行い、年間一般廃棄物総排出量を4.570t以下にする。(2008年度比4%削減)	全社	Kg	目標	4,570
			実績	2,996
			結果	○
2010年7月までに、両面印刷や裏紙の使用を行い、年間コピー用紙購入量を2,278kg以下にする。(2008年度比4%削減)	全社	Kg	目標	2,278
			実績	493
			結果	○
2010年7月までに、コピー用紙のグリーン調達方法の選定及び調達割合を50%以上にする。	本社	グリーン調 購入量/総購 入量(%)	目標	50%
			実績	69%
			結果	○
本年度中に、事業活動に伴う資材購入量の削減に関する提案を、全社で四半期に1件以上行う。	全社	提案数	目標	4件
			実績	4件
			結果	○

5. 今年度の環境目標と活動計画（施策）

2010年度

	環境目標	活動計画 ー具体施策ー
1	2011年度までに、二酸化炭素排出量を、2008年度比40%削減する。	OA機器、空調及び電灯の適正使用
2	2011年度までに、年間一般廃棄物排出量を、2008年度比6%削減する。	分別の徹底、分別のチェック
3	2011年度までに、資源物のリサイクルフローを、確立する。	業者選定、契約書締結、適正処理の確認
4	2011年度までに、水使用量を、2008年度同水準に維持する。	節水啓蒙活動
5	2011年度までに、コピー用紙のグリーン調達を、総購入重量当たり50%へ。	環境配慮商品の購入、集計方法の確立
6	2011年度までに、エネルギー削減提案を、四半期に1件以上提案する。	提案方法の確立
7	四半期に1度、環境に対する意識を高める教育を行う。	環境に対する継続的な教育の開催、環境意識を高める場の提供

6. 主な環境活動のご紹介

6. 1 緊急事態対応訓練を実施

倉庫業と車両による輸送は切っても切れない関係にあります。たとえば貨物搬入車両からオイルが漏れたらどうすればよいか。常日頃から訓練と確認を行うことでそのような事態にも冷静に対処できる体制を構築しています。



図 2 2009年度緊急事態対応訓練の風景(左:北見方営業所、右:下野毛営業所)

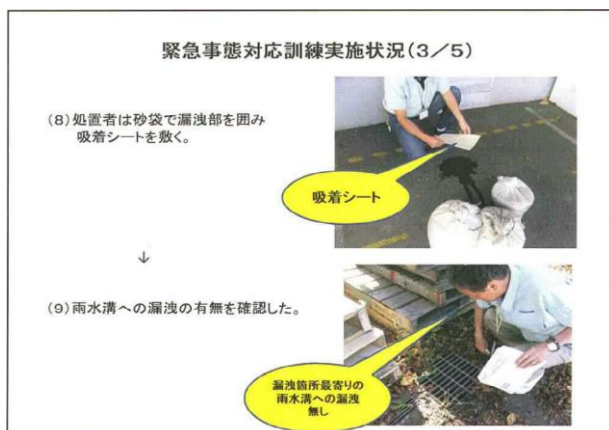


図 3 2009年度緊急事態対応訓練の風景(御殿場営業所)

6. 2 空調の適正使用による環境負荷の軽減活動

弊社の環境負荷を考察すると電気使用量が大きな割合を占めることがわかりました。そこで、電気使用量の大部分をしめる空調の適正使用を行うための活動を行うことといたしました。

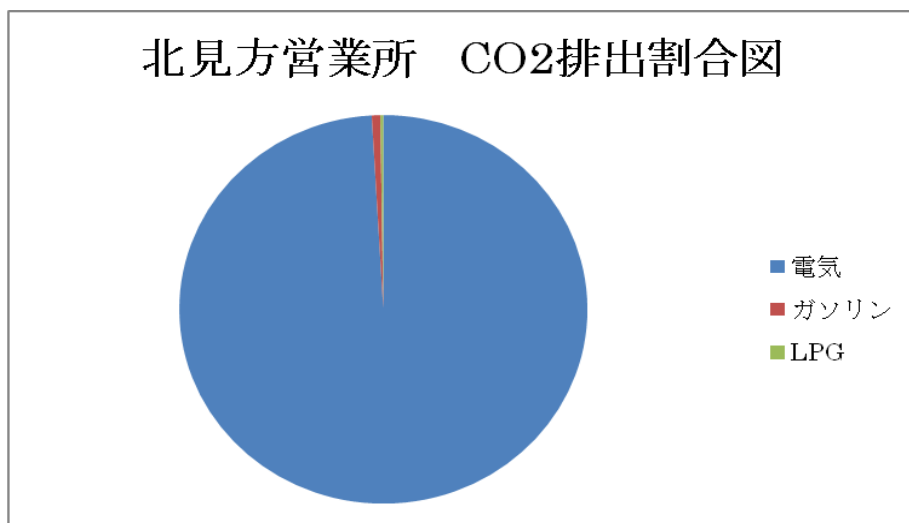


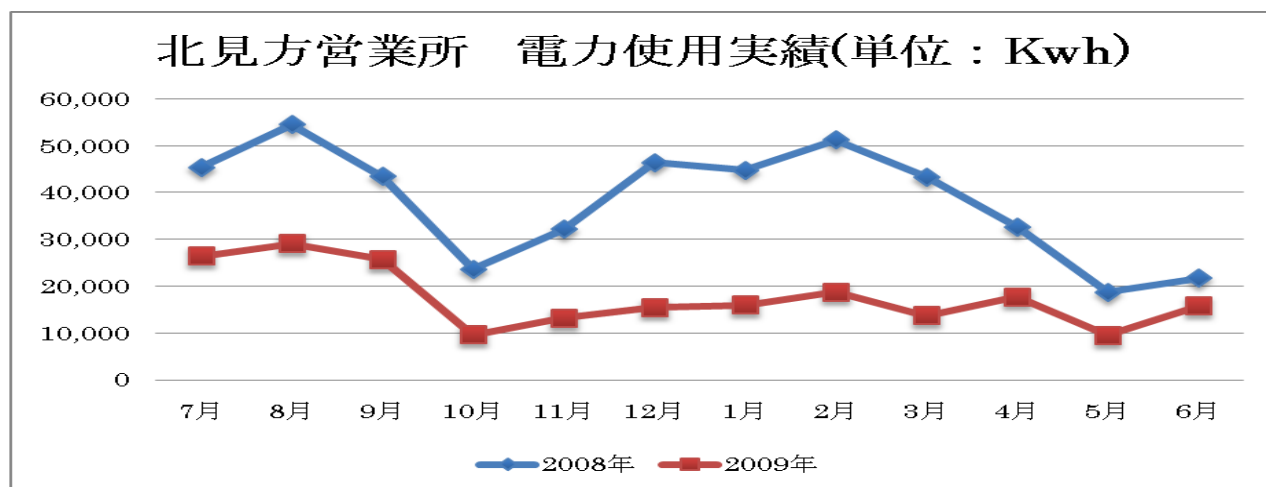
図 4 CO2 排出割合図



はじめに目標設定を行いました。目標値といたしましては空調使用時の室温を使用し、「チーム・マイナス6%」が提唱している、夏季28度、冬季20度といたしました。

つぎに、目標を達成するため、室温設定温度を掲示し従業員の協力を要請いたしました。

本年度は、活動を夏のピークに向けて上昇をはじめた時期に行えたため、良い結果につながったと考えております。今後も継続して活動を続けてゆきます。



6. 3 ペットボトルキャップのリサイクルに協力

最近の飲料水容器にはペットボトルが多用されており廃棄物として増加の方向にあります。御殿場営業所ではペットボトルキャップのリサイクルに取り組んでおります。

キャップをゴミとして捨てると「400個で3150gのCO₂」を生み出します。

しかし、リサイクルすると「400個で10円分のワクチン」を購入することができます。

キャップのリサイクル一つは小さいものですが、ワクチンさえあれば助かる子供たちは、世界で一日約6000千人にも達していると聞きました。

もしこの命一人でも、いつもはゴミになっているもので救えてなお且つ廃棄物削減にも貢献できるとしたら皆で取り組む価値は十分にあると思い取り組みを開始しました。



7. 環境関連法規制への違反、訴訟等の有無

当社が実施した遵守評価等の結果、過去3年間の上記環境関連法規制の違反及び利害関係者からの指摘、訴訟はありませんでした。

※「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等、19法

※「神奈川県環境の保全等に関する条例」等、6条例

※「顧客要求事項」等、2事項

以上